

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)**

令和8年2月27日

九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
平成筑豊鉄道沿線地域 公共交通協議会	平成筑豊鉄道沿線における交通 ネットワークのあり方を検討するた めに協議会の開催及び必要な調 査を行った。	A	これまでの調査結果や決定する大 きな方向性をもって、必要な計画策 定に取り組む。	平成筑豊鉄道沿線における持続可 能性と利便性の高い地域公共交 通への再構築を促進することを目 的として、調査・検討の深度化を図 り、協議会での意見をふまえ、大き な方向性の決定に向けて、適切に 事業は実施された。	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
**(地域公共交通調査等事業)**

令和8年2月27日

九州運輸局

**評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業**

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
日南線(油津・志布志間)の将来を考える会議	○協議会の開催・運営 ・R7.10.31 第1回検討会議開催 内容:日南線の現状、沿線地域における取組状況等について ・年度内に第2回検討会議開催予定	A	計画どおり適切に実施された。	協議会開催を経て、沿線地域における現状や課題を共有し、当該路線における将来のあり方を検討するための調査事業について議論が進められていることから、一定の効果が出たと思料される。	

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表  
(地域公共交通調査等事業)

令和8年2月27日  
九州運輸局

評価対象事業名:地域公共交通再構築調査事業

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
肥薩おれんじ鉄道未来 戦略検討委員会	<p>【事業内容】</p> <p>(1) 鉄道事業再構築実施計画の策定に向けた委託調査事業の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通の活性化及び再生に関する法律第23条に規定する鉄道事業再構築実施計画を策定するため、鉄道事業等に関する概況整理、需要推計、財務状況及び資金収支の分析、鉄道事業再構築事業による効果・影響等についての調査を行った。</li> </ul> <p>(2) 鉄道事業再構築実施計画の策定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>委託調査事業の調査内容・調査結果及び肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会(法定協議会)での議論結果等を踏まえ、令和7年12月に肥薩おれんじ鉄道線鉄道事業再構築実施計画を策定した。</li> </ul> <p>(3) 肥薩おれんじ鉄道未来戦略検討委員会(法定協議会)の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和7年度は幹事会を2回(6月、11月)、法定協議会を2回開催(6月、11月)の上、肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画に基づく取組施策や鉄道事業再構築実施計画等について議論した。</li> </ul> <p>【主な調査結果】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>肥薩おれんじ鉄道の鉄道施設及び鉄道車両の整備費及び維持修繕費等を、引き続き、熊本県・鹿児島県及び沿線7市町等が負担することで、線路設備や車両設備の計画的な更新が可能となり、将来にわたり安全・安心な運行の維持の実現を図ることとなった。</li> <li>キャッシュレス決済の導入拡大やMaasの取組拡大、駅待合環境の整備・改善、駅舎の利活用や沿線地域が一体となった肥薩おれんじ鉄道を活用したイベントの企画等、利用者の利便確保に向けた各種施策を推進することで、同鉄道を軸とした地域公共交通ネットワークの実現を図ることとなった。</li> <li>鉄道事業再構築事業を実施した場合における計画最終年度(令和17年度)の輸送人員は、鉄道事業再構築事業を実施しない場合と比較して約69千人増加するとの調査結果が得られた。</li> <li>鉄道事業再構築事業を実施した場合における計画最終年度(令和17年度)の事業収支は、鉄道事業再構築事業を実施しない場合と比較して約74百万円改善するとの調査結果が得られた。</li> </ul>	A	肥薩おれんじ鉄道沿線地域公共交通計画及び鉄道事業再構築実施計画に基づき、令和8年度から鉄道の安全性や利用者の利便性の推進・向上のための設備更新等に社会資本整備総合交付金を活用するなど、同鉄道が将来にわたって持続的な運行が可能となるよう、関係者が一体となって取り組む。	鉄道事業等に関する概況整理や需要推計、財務状況及び資金収支の分析、鉄道事業再構築事業による効果・影響等について調査を行い、本委員会での議論結果等を踏まえ、鉄道事業再構築実施計画が策定されており、適切に事業は実施された。	

**地域公共交通確保維持改善事業・事業評価総括表**  
(地域公共交通調査等事業)

令和8年2月27日

九州運輸局

**評価対象事業名：地域公共交通再構築調査事業**

協議会名	①事業の結果概要	協議会における事業評価結果		地方運輸局等における 二次評価結果	備考
		②事業 実施の 適切性	③計画策定等に向けた方針 又は事業の今後の改善点	評価結果	
指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議	<p>【事業内容】</p> <p>1 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の将来のあり方に関する検討会議(任意協議会)の開催・運営。</p> <p>(1) 令和7年5月13日 第3回検討会議開催</p> <p>(2) 令和7年8月5日 第4回検討会議開催</p> <p>(3) 令和8年2月予定 第5回検討会議開催予定</p> <p>2 JR指宿枕崎線(指宿・枕崎間)検討調査業務委託の実施 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)が有する社会・経済的価値の可視化・定量化するための調査事業を実施。 今後、指宿枕崎線(指宿・枕崎間)が持つ現在の価値、3(1)~(4)の地域活性化施策(実証事業)の実施による価値の増加・創出見込みを推計。</p> <p>3 地域活性化施策(実証事業)の実施 指宿枕崎線(指宿・枕崎間)が持つ社会・経済的価値を最大化するため、以下の地域活性化施策(実証事業)を実施。</p> <p>(1) 貨客混載事業 (2) サイクルトレイン運行 (3) PR情報発信 (4) 西穎娃駅のにぎわいづくり</p>	A	<p>いずれの事業についても、交付申請の内容に基づき、適切に実施された。</p> <p>なお、地域活性化施策(実証事業)については、指宿枕崎線で初めて実施する内容が含まれており、安全性の確保等、実施にあたり関係者で整理しなければならない課題が多く、実現までに時間を要した。</p> <p>中長期的に効果検証が必要な事業も含まれていることから、引き続き、指宿枕崎線(指宿・枕崎間)の社会・経済的価値の増加・創出見込みを検証するため、地域活性化施策(実証事業)に取り組み、関係者で議論を行う。</p>	<p>評価結果</p>	<p>鉄道を活かした地域づくりを目的とした会議等を開催し、調査事業や実証事業を行うなど、議論が進められていることから、一定の効果が出たと思料される。</p>